

紙版 ハコブネ×ブックス vol. 34

<https://hakobune.wp-x.jp>

ハコブネ×ブックスは児童文学作品・YA作品を未来に語り継ぐwebサイトです。



ユ・ウオン

作者 ベク・オニユ
 翻訳者 吉原育子
 出版社 祥伝社
 発行 2022年3月
 ISBN 978-4396636210

review



特集

韓国YAの世界観

大韓民国。通称、韓国。日本との歴史的な関係性にはわだかまりもあり、隣にありながらも遠い国である一方で、ドラマや音楽など、その文化的な先進性には大いに刺激を与えられている昨今です。近年、韓国小説がブームとなり、思春期の子どもたちを主人公にしたYA(ヤングアダルト)ジャンルでも多くの作品が翻訳刊行されるようになりました。それぞれの物語には現代韓国文化の興味深い特異性が反映されています。受験や就職が日本よりも格段に厳しい競争社会を生きる子どもたちは、**どんな世界を観ているのか**。複雑な状況に置かれていく物語は、人はどう生きるべきかという**普遍的な命題**にアプローチして、真理に近づいていきます。独創的な設定と深く濃い内面描写。思春期の**自意識**と葛藤が鮮やかに描かれていく韓国YAの魅力に是非、触れてみてください。

六歳の時、マンシヨンの高層階で発生した**大規模火災**に巻きこまれたものの、十歳上の姉の機転で、水にぬらした布団に巻かれ**ベランダから階下に落下**させられ、無事、救出された少女、ユ・ウオン。姉を含む十名もの死者を出した火災事故から生還した**奇跡の子**として、周囲の善意の気遣いを受けながらウオンは成長します。当時の姉の年齢を越えた今となっては、優秀な姉の話題が出るたびに、生き残った自分の存在に負い目を感じてしまうウオンは、**孤独を深め**、親しい友人もおらず、誰にも心のうちを打ち明けることができず。そんなウオンが、自分の素性を知らないらしい少女、スヒョンと出会い、交流を深めていきます。姉が**自分に託した願い**をウオンが受け止められるようになるまで、自らの本心にたどり着くプロセスが見事に描かれます。



千個の青

作者 チョン・ソンラン
 翻訳者 カン・バンファ
 出版社 早川書房
 発行 2021年10月
 ISBN 978-4152100566

review



現在よりも医療や工学テクノロジーが発達した近未来(二〇三五年)の韓国社会。単純労働をロボットが代替するようになった社会は理想的なようで、人間は仕事を奪われ、より閉塞的な状況となっています。清掃作業や店員だけではなく、**競馬の騎手**もまたAIが搭載されたロボットが務めるようになっていました。落馬事故により破損し、廃棄処分前だった**騎手ロボット**、コリアを買い取って修理したのは、ロボット工学に才能のある十五歳の少女、ウ・ヨンジェです。誤って高度な学習チップを搭載されていたコリアは、**千個の単語**を理解し、思考することができました。殺処分されるパートナーの競走馬を救いたいというコリアの無垢な意志に動かされ、エンジェは共に計画を実行に移します。**感情のないロボット**を通じて人間の心や愛情の所在を逆照射する快作です。



普通のノウル

作者 イ・ヒヨン
 翻訳者 山岸由佳
 出版社 評論社
 発行 2022年10月
 ISBN 978-4566024779

review



十七歳の高校生男子ノウルはスポーツも勉強もそこそこ、とくに打ちこんでいることもなく、放課後は中華料理店でのアルバイトに精を出す。よく**普通の少年**です。そんなノウルの普通ではないところといえば、彼の母親のジへの**外見が若すぎる**こと。十六歳でノウルを産んだ彼女は三十歳過ぎですが、小柄で若く見えるため、長身のノウルと並んでも姉弟にしか思われません。シングルマザーで苦勞して自分を育ててくれた母親が、ごく平凡な**普通の幸せ**を得られるようにと願っているノウルですが、幼なじみのソンの兄、ソンピが自分の母親に好意を持っていることに複雑な感情を抱きます。エリートではあるものの、母親より六歳も歳下であるソンの、普通であることを幸福だと考える少年が、周囲の人たちに影響を受けながら、頭を悩ませ葛藤する姿が見どころです。

特集
 韓国YAの世界観



生まれつき偏桃体という**脳の感情を司る器官**が発達で、笑うことも泣くこともない少年、ソン・ユンジエ。十七歳になる誕生日、衝撃的な事件が彼と家族を襲いますが、**心を動かさない**彼は世間から**怪物視**されます。日本国内での韓国小説ブームを牽引した話題のベストセラーもYAとしての魅力に溢れた作品です。



アーモンド
 (ソン・ウォンユン)
 祥伝社 2019年



5番レーン

作者 ウン・ソホル
 翻訳者 すんみ
 出版社 鈴木出版
 発行 2022年6月
 ISBN 978-4790233916

review



優れた選手が集まる、漢江(ハンガン)小学校**水泳部**。そのエースである六年生の女子、カン・ナル。**勝つことへの強いこだわり**を持ち、ひたすら練習を続けてきた彼女ですが、今回の全国ジュニア大会でもライバルである他校のキム・キョヒに敗れます。その悔しさはおさまらず、ナルは試合のビデオを何度も見直しては、キョヒの**光る水着に不正がある**のではないかと疑いをかけ、やがて思わぬ暴挙に及んでしまいます。周囲にキョヒの不正を訴えても相手にされず、逆に、その**勝負への執着心**をいさめられるナル。どうして自分は水泳をやっているのか。姉や同級生で自分に好意を持っている男子、テヤンなど、ただ水泳を楽しんでいる周囲の人たちの姿や言葉に感化され、自分を見つめ直しながらも、ナルが**勝気の水泳**にこだわる強い意志を貫いていく一途すぎる物語です。

紙版「ハコブネ×ブックス」vol.34

2023年1月1日発行 ●発行人 きむらともお

事務系会社員。趣味で児童文学紹介サイト「ハコブネ×ブックス」(非営利)を運営しています。日本児童文学者協会第6回児童文学評論新人賞佳作他、諸々を受賞。



Twitter
 連携しています。

@tomostretch